

環境防災学講座 平成 24 年度修了生からのメッセージ

朱 培紅, 留学生

現所属：東亜グラウト工業(株) 斜面防災グループ 技術開発室 技術管理部

1. 環境防災学講座での修士研究について

- 中国からの留学生として日本で防災のことについて研究した時、感心に思ったことは多数あった。その中で、特に日本の防災法制度について興味を持ち、中国との比較研究を行った。そして、今後の中国の防災法制度のあり方について検討した。

2. 環境防災学プログラムについて

- 砂防分野の研究者だけではなく、行政や企業の砂防事業を担当し、この分野の第一線で活躍されている方々からお話を聞くことができ、幅広く知識と考え方を学ぶことができた。
- 講師の方々はもちろん、経験豊かな社会人学生も多く在籍し、疑問に思った時や迷ったときには多くの説明やアドバイスをいただいた。
- 実践実習や現地調査などの課外活動が充実しており、講義で受けた内容を実際の現場で自分の目で確かめて知識を深めることができた。

3. 現在、会社で役に立ったと実感できること

- M1 の夏に環境防災学プログラムを通じてリングネット関連の会社で実践実習を行った。今はまさにリングネットなどの柔構造物を取り扱う会社の技術開発室に入った。環境防災学プログラムで受けた講義と実践実習の時に現場で学んだ知識のおかげで、現在の業務内容は理解しやすくなった。

4. その他感想

- 受験する前まで防災のことについて知識を深めるために進学したいと思っていたが、砂防分野までには絞らなかった。研究室訪問をきっかけで環境防災学講座に入ることに決意したが、正解であった。勉学生活の様々な面で講座の教員や研究室メンバーの方々にサポートしてもらったので、留学生だからこその心細さと不安はまったくなく、安心して研究活動に取り組むことができた。
- この講座に入ってから、砂防が我々の日々の生活に深くかかわっていることに気づき、砂防の重要性を知るようになった。砂防分野に出会えて、環境に配慮した対策を行うという砂防の考え方が学べて、本当に良かったと思う。

5. 後輩に期待すること

- 留学生も一般学生さんもぜひ環境防災学講座とこの業界に入ってもらいたい。講座に入らなくとも、環境防災学プログラムは履修してほしい。